

事業群評価調書(平成30年度実施)

基本戦略名	2 交流を支える地域を創出する	事業群主管所属	事業群①:土木部都市政策課 事業群③:企画振興部県庁舎跡地活用室
施策名	(1) 時機を捉えた魅力あるまちなみの整備		
事業群名	① 新幹線開業に向けた駅周辺の整備	課(室)長名	事業群①:植村 公彦、事業群③:鳥谷 寿彦
	③ 県庁舎跡地整備の推進	事業群関係課(室)	住宅課

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)

①長崎港周辺の魅力ある都市景観の形成を進めるとともに、長崎駅周辺ではJR長崎本線の高架化やデザイン指針を基に駅舎などの施設・公共空間のデザイン調整に取り組み、併せて、諫早駅や新大村駅(仮称)周辺では交通広場整備による交通結節機能の向上などに取り組みます。
③交流人口の拡大に寄与するとともに駅周辺エリアや松が枝エリアとまちなかをつなぐ回遊の拠点となることを目指し、地元長崎市と連携しながら、長崎市のみならず長崎県全体にとって、最も良い活用策となるよう取り組みます。

(取組項目)

i)JR長崎本線連続立体交差事業及び新幹線駅周辺等における機能的な都市空間創出のための市街地開発事業等の促進(事業群①)
ii)重点的に整備する4つのエリアに掲げる施策の推進(事業群①)
iii)環長崎港地域における先導性のある都市デザインの推進(事業群①)
iv)県庁舎跡地に関する整備の推進(事業群③)

事業群	指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	①新幹線駅周辺整備の進捗状況〔面積〕	目標値①		4%	10%	11%	29%	44%	44% (H32)	
		実績値②	3% (H26)	4%	10%				進捗状況	
		②／①		100%	100%				順調	
	指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	
	③県庁舎跡地活用に関する整備の推進	目標値①		—	—	—	—	—	期間中の着手 (H32)	
		実績値②	—	—	—				進捗状況	
		②／①		—	—				—	

2. 29年度取組実績(H30新規・補正は参考記載)

事業 番号	取組 項目	事務事業名	事業 期間	事業費（単位:千円）			事 業 概 要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					29年度事業の成果等	中核 事業
				H28実績	うち 一般財源	人件費 (参考)	事業対象	29年度事業の実施状況 (30年度新規・補正事業は事業内容)	指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率		
				H29実績							H29目標	H29実績			
		所管課(室)名		H30計画							H30目標				
1	取組 項目 i	長崎駅周辺連続立体 交差事業促進費	H19-	18,192	9,427	11,259	鉄道高架 区間の道 路利用者	デザイン検討会議を2回開催し、長崎駅舎・駅前 広場等のデザイン決定に向けた課題を整理した。 また、鉄道事業者とH27に策定されたデザイン基 本計画に基づいた駅舎デザインの具現化を図る ための協議を実施した。	活動 指標	鉄道事業者との協議 回数	10	16	160%	「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本 計画」に基づいた様々な課題整理を鉄 道事業者と行い、在来線及び新幹線の 長崎駅舎の設計に当たり諸条件の整理 に寄与した。	○
				88,604	45,702	11,264					10	18	180%		
											10				
				都市政策課		362,225			38,684	11,194	成果 指標	長崎駅舎・駅前広場 等デザイン基本計画 テーマの達成項目	0		
							1	1	100%						
												2			

2		長崎駅周辺連続立体交差事業(公共)	H21-	3,480,547	87	-	鉄道高架区間の道路利用者	平成29年度については高架橋の下部工事を実施した。	活動指標	工事説明会の開催回数	3	5	166%	平成29年度においては高架橋の下部工事を実施し、事業の進捗に寄与したが、デザイン決定の遅れ等による事業の遅延(1年間)により、事業進捗率の達成率は90%にとどまった。	○
				4,036,007	168	-					3	5	166%		
				12,205,805	43	-					3				
		都市政策課							成果指標	事業進捗率(%)	42	51	121%		
3	取組項目 i	長崎駅周辺連続立体交差事業(単独)	H22-	56,094	10	4,021	鉄道高架区間の道路利用者	平成29年度については高架橋の下部工事を実施した。	活動指標	工事説明会の開催回数	64	58	90%	平成29年度においては高架橋の下部工事を実施し、事業の進捗に寄与したが、デザイン決定の遅れ等による事業の遅延(1年間)により、事業進捗率の達成率は90%にとどまった。	○
				87,072	21	4,023					72				
				140,602	50	3,998					3	5	166%		
		都市政策課							成果指標	事業進捗率(%)	42	51	121%		
4		都市計画事業県費補助金(区画整理・再開発)	-	101,421	350	0	長崎市、諫早市、長与町	新幹線駅周辺などにおける土地区画整理事業及び市街地再開発事業の整備に対し、事業費の補助を行い、都市基盤施設の整備を促進した。	活動指標	補助申請件数	3	3	100%	新幹線駅周辺などにおける土地区画整理事業及び市街地再開発事業の計画策定や整備が進捗し、魅力的なまちなみや都市基盤の整備の促進が図られた。	
				266,512	112	0					3	3	100%		
				248,000	9,090	0					3				
		住宅課							成果指標	事業進捗率(%)	50	52	104%		
5	取組項目 ii	都市再生推進事業	H21-	1,392	1,392	14,476	県、長崎市、民間事業者	「長崎市中央部・臨海地域」都市・居住環境整備基本計画 重点エリア整備計画(短期整備期間)」の目標年次である平成29年度末を控えて、進捗状況の中間報告をまとめ、関係部局と情報共有した。長崎駅周辺エリアデザイン調整会議を通じ、エリア内で整備される高架橋のデザイン調整を行った。	活動指標	長崎駅周辺エリアデザイン調整会議の開催回数	56	58	90%	平成29年度においては高架橋の下部工事を実施し、事業の進捗に寄与したが、デザイン決定の遅れ等による事業の遅延(1年間)により、事業進捗率の達成率は90%にとどまった。	○
				894	894	14,483					64	58	90%		
				4,981	4,981	7,996					72				
		都市政策課							成果指標	デザイン調整が整った施設数の累計	42	51	121%		
6	取組項目 iii	環長崎港地域都市再生調整事業	H12-	12,006	12,006	6,434	国、県、長崎市、民間事業者	環長崎港地域アーバンデザイン専門家会議を開催し、長崎港周辺で整備される公共施設のデザイン検討を行った。	活動指標	アーバンデザイン会議等の開催回数	64	58	90%	新県庁舎、新県警本部庁舎、防災緑地等のデザイン検討を行い、魅力ある都市景観の形成に向けた質の高い施設整備に取り組んだ。	○
				8,871	8,871	7,241					50	52	104%		
				11,555	11,555	5,997					56	56	100%		
		都市政策課							成果指標	デザイン調整が整った施設数の累計	60				
7	取組項目 iv	跡地活用検討経費	H21-	11,327	11,327	28,951	県、長崎市	県庁舎跡地活用の3つの方向性のうち、広場と交流・おもてなしの空間について、整備する場合に考えられる個別の機能などの検討を進めた。また、県内外の有識者等へのヒアリングや先進事例調査、長崎市との定期的な協議を実施した。	活動指標	県議会等への整備進捗状況の報告回数(回)	2	1	50%	整備計画(短期整備期間)終期のH29年度末を前に、進捗状況を確認し関係部局において情報共有を図った。このことで短期整備期間終期に向けての意識づけをおこなうことができた。長崎駅周辺のデザイン調整(高架橋色彩)を通じて周辺環境と調和の取れた都市空間の創出が可能となり、都市再生に向けた施策の推進に寄与した。	○
				1,267	1,267	28,161					1	1	100%		
				3,700	3,700	39,980					2	5	125%		
		県庁舎跡地活用室							成果指標	デザイン調整が整った施設数の累計	5	6	120%		
7	取組項目 iv	跡地活用検討経費	H21-	11,327	11,327	28,951	県、長崎市	県庁舎跡地活用の3つの方向性のうち、広場と交流・おもてなしの空間について、整備する場合に考えられる個別の機能などの検討を進めた。また、県内外の有識者等へのヒアリングや先進事例調査、長崎市との定期的な協議を実施した。	活動指標	県議会等への整備進捗状況の報告回数(回)	6			県庁舎跡地活用策に係る基本構想の策定を進める上で、必要となる県庁舎跡地活用策の具体的検討を進めた。	○
				1,267	1,267	28,161					5	5	100%		
				3,700	3,700	39,980					4	4	100%		
		県庁舎跡地活用室							成果指標	基本構想に着手	4				
7	取組項目 iv	跡地活用検討経費	H21-	11,327	11,327	28,951	県、長崎市	県庁舎跡地活用の3つの方向性のうち、広場と交流・おもてなしの空間について、整備する場合に考えられる個別の機能などの検討を進めた。また、県内外の有識者等へのヒアリングや先進事例調査、長崎市との定期的な協議を実施した。	活動指標	県議会等への整備進捗状況の報告回数(回)	数値目標なし	—	—	県庁舎跡地活用策に係る基本構想の策定を進める上で、必要となる県庁舎跡地活用策の具体的検討を進めた。	○
				1,267	1,267	28,161					数値目標なし	—	—		
				3,700	3,700	39,980					数値目標なし	—	—		
		県庁舎跡地活用室							成果指標	基本構想に着手	数値目標なし	—	—		

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) JR長崎本線連続立体交差事業及び新幹線駅周辺等における機能的な都市空間創出のための市街地開発事業等の促進(事業群①) 高架橋工事の整備を行う一方で、長崎駅は新幹線・在来線双方が乗り入れる日本唯一の頭端駅であり、海に開かれた駅としては世界にも類を見ない特長を有しているため、長崎の玄関口にふさわしいデザインの基本的な考えを示した「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に基づき、鉄道事業者と費用負担や維持管理等について引き続き調整を行う必要がある。また、平成28年度より本格的な高架橋工事に着手しており、H28は基礎工事が、H29は下部工がほぼ完了し、H30は上部工、駅部建築工事に着手し整備進捗を図っていく。 長崎、諫早、大村の駅周辺で行われている土地区画整理事業及び市街地再開発事業についても、新幹線開業に合わせて引き続き整備する必要がある。
ii) 重点的に整備する4つのエリアに掲げる施策の推進(事業群①) 整備計画に掲げる施策について、平成29年度末の短期整備期間の終期を控え、年度途中に進捗状況を確認し関係部局と情報共有し、今後の都市再生に向けた施策の推進に寄与することができた。なお、整備計画の施策については、事業者が県・長崎市の関係部局や民間事業と多岐にわたっているため、施策を進めていくためにも引き続き各機関の進捗状況を把握し情報共有する必要がある。なお、平成29年度末の短期整備期間終了時点における施策の実績を把握し、今後の問題点等を洗い出し、事業進捗への一助とする予定である。 長崎駅周辺エリアについては、長崎駅周辺エリアデザイン調整会議を通じ、周辺環境と調和したデザイン調整をすることができた。今後も長崎市交流拠点施設やJR駅ビルなどの整備が予定されているため、引き続きデザイン調整を行っていく。
iii) 環長崎港地域における先導性のある都市デザインの推進(事業群①) 長崎港周辺では、水辺の森公園や松が枝国際観光船埠頭といった港の景観に調和した施設が完成しており、新県庁舎や新県警本部庁舎についても計画・設計段階から施工段階に至るまで詳細なデザイン検討を行い、質の高い施設の整備に取り組んだ。今後も魅力ある都市景観の形成に向け、県立図書館郷土資料センター等長崎港周辺で整備される施設についてデザイン検討を行っていく。
iv) 県庁舎跡地に関する整備の推進(事業群③) 平成29年度は、県庁舎跡地活用の3つの方向性のうち、広場と交流・おもてなしの空間について、これまでの議論や経過を踏まえた上で、整備する場合に考えられる個別の機能などの検討を進め、平成29年9月、及び11月の県議会総務委員会に検討状況を報告し、ご意見をいただいた。 文化芸術ホールについては、長崎市が整備を検討しているMICE施設におけるホールとの機能重複がないことが明らかになったことから、長崎市との間で協議を進めている。3つの主要機能を効果的に配置し、その連携により相乗効果を発揮させ、賑わいの創出につながる活用策となるよう検討を進め、できるだけ速やかに整備の方針を示していく。

4. 30年度見直し内容及び31年度実施に向けた方向性

事業 番号	取組 項目	事務事業名	30年度事業の実施にあたり見直した内容 (H30の新たな取組は「H30新規」等と記載、見直しがない場合は「－」と記載)	31年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組 項目 i	長崎駅周辺連続立体 交差事業促進費	—	—	JR長崎本線連続立体交差事業は、国際観光文化都市長崎の玄関口としてふさわしいまちづくりのために、九州新幹線西九州ルートや長崎市の事業である長崎駅周辺土地区画整理事業と調整を図りながら一体となって推進する必要がある、「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に基づいて駅周辺のデザインを検討していく必要がある。	現状維持
3		長崎駅周辺連続立体 交差事業	—	—	JR長崎本線連続立体交差事業は、国際観光文化都市長崎の玄関口としてふさわしいまちづくりのために、九州新幹線西九州ルートや長崎市の事業である長崎駅周辺土地区画整理事業と調整を図りながら一体となって推進する必要がある。	現状維持
4		都市計画事業県費補 助金 (区画整理・再開発)	—	—	長崎市、諫早市及び大村市の新幹線駅周辺などにおける土地区画整理事業及び市街地再開発事業については、新幹線開業に合わせ、魅力的なまちなみ形成や都市基盤の整備を促進する必要がある。	現状維持
5	取組 項目 ii	都市再生推進事業	平成30年度においては、整備計画短期整備期間の終期到達 時点での4エリア全ての整備計画の実績・進捗状況を把握、問 題点を分析し関係各機関で情報共有する。	②	短期整備期間における施策の進捗を踏まえた上で、短期整備期間で出た課題等を明確にし、今後の 都市再生にむけて中期整備計画への必要な対策を講じるよう検討する。 また、長崎駅周辺エリアデザイン調整会議については、平成34年開業予定の九州新幹線西九州 ルートを見据えたまちづくりに向けて、今後も継続した取組みが必要である。	改善
6	取組 項目 iii	環長崎港地域都市再 生調整事業	—	—	長崎港周辺では、水辺の森公園や松が枝国際観光船埠頭といった港の景観に調和した質の高い施 設が数多く完成している。今後も継続して県立図書館郷土資料センター等長崎港周辺で整備される 施設についてデザイン検討を行い、魅力ある都市景観の形成に寄与していく。	現状維持
7	取組 項目 iv	跡地活用検討経費	—	—	これまでの経過を踏まえて、今後策定する基本構想の中で、基本設計に必要となる具体的な施設の 用途・機能・規模等の検討を進めていく。	現状維持

注:「2. 29年度取組実績」に記載している事業のうち、H29年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点